

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年2月14日
【四半期会計期間】	第66期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）
【会社名】	株式会社サンユウ
【英訳名】	SANYU CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 上野 隆
【本店の所在の場所】	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号
【電話番号】	072-(858)-1251(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 西村 圭二
【最寄りの連絡場所】	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号
【電話番号】	072-(858)-1251(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 西村 圭二
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第65期 第3四半期 連結累計期間	第66期 第3四半期 連結累計期間	第65期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年12月31日	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	9,329,812	11,020,963	12,907,780
経常利益(千円)	248,729	134,998	349,576
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失( )(千円)	123,839	45,227	144,490
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	69,525	75,691	78,945
純資産額(千円)	6,862,616	6,731,976	6,872,036
総資産額(千円)	14,526,196	16,357,321	14,413,191
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額( )(円)	20.49	7.56	23.90
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	47.2	41.2	47.7

回次	第65期 第3四半期 連結会計期間	第66期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 ( )(円)	3.90	1.61

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という。)は含まれておりません。

3. 第66期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第65期第3四半期連結累計期間及び第65期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第65期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

## 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

当第3四半期連結累計期間において、当社は大同磨鋼材工業株式会社（以下、「大同磨社」という。）を子会社化し、平成23年12月31日現在では当社グループは、当社・子会社3社及びその他の関係会社1社となり、子会社1社が増加いたしました。

大同磨社は、中国・九州地区を販売拠点とする当社のみがき棒鋼の販売先であり、当社及び株式会社サンユウ九州との連携を含め当社グループの業容拡大及び収益向上が見込まれることから、大同磨社を子会社化することを判断したものであります。

なお、当社グループのセグメントはみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線事業の単一事業であります。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態及び経営成績の状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の落ち込みから回復しつつある一方、欧州金融不安の拡大、長期化する円高及び株価の低迷等により、依然として景気の先行きは不透明なまま推移いたしました。

みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線業界におきましては、主要需要家である自動車業界等では震災により生産活動に影響を受けましたが、サプライチェーンの復旧により、生産活動は順調に回復しました。その後、10月下旬のタイの洪水でその回復の足取りに水を差された結果となりました。

このような経営環境下、当社グループは全社を挙げて収益の確保と生産性の向上及びコスト削減に取り組みました。また、当社は平成23年4月26日に、中国・九州地区を販売拠点とする大同磨鋼材工業株式会社（以下、「大同磨社」という。）及び同社の実質的な持株会社である株式会社ヒューマン・スペースの全株式を取得し、当社グループの業容の拡大及び収益の向上に取り組みました。なお、経営の効率化を図るため、平成23年6月30日付をもって大同磨社を存続会社とする吸収合併方式により、両社は合併いたしました。

その結果、大同磨社の子会社化等により販売数量は70千トン（前年同四半期比9.9%増）となり、売上高は11,020百万円（前年同四半期比18.1%増）と増収となりました。

損益につきましては、当社単体では黒字を計上いたしましたが、平成23年1月に稼働を開始した株式会社サンユウ九州において、新規立上げに伴う減価償却費等の固定費負担に加え、震災の影響等による販売数量の低迷により赤字を余儀なくされ、結果、営業利益148百万円（前年同四半期比37.9%減）、経常利益134百万円（前年同四半期比45.7%減）といずれも減益で、四半期純損失45百万円（前年同四半期は四半期純利益123百万円）となりました。

事業部門ごとの業績は、次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、震災の影響があったものの大同磨社の子会社化により、販売数量は46千トン（前年同四半期比12.8%増）となり、売上高も7,481百万円（前年同四半期比20.1%増）となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましては、震災の影響がありましたが、(株)サンユウ九州の稼働により販売数量は24千トン（前年同四半期比4.7%増）となり、売上高も3,539百万円（前年同四半期比14.2%増）となりました。

( 2 ) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は16,357百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,944百万円増加いたしました。これは主に、大同磨社を子会社化したことなどにより、現金及び預金が443百万円、商品及び製品が672百万円、原材料及び貯蔵品が257百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は9,625百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,084百万円増加いたしました。これは主に、大同磨社を子会社化したこと及び㈱サンユウ九州の設備投資資金等として新規借入を行ったことにより有利子負債が1,638百万円増加したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は6,731百万円となり、前連結会計年度末に比べ140百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が87百万円減少したことなどによるものであります。

( 3 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

( 4 ) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

( 5 ) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設のうち、子会社の㈱サンユウ九州が計画しておりました焼鈍設備増設（投資予定総額：200百万円、着手：平成22年11月、完了予定日：平成23年6月）は平成23年9月に完了いたしました。なお、同設備につきましては、当社が購入し同社に賃貸することに変更いたしました。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種 類	発行可能株式総数(株)
普 通 株 式	19,344,000
計	19,344,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,091,000	6,091,000	大阪証券取引所 市場第二部	単元株式数 1,000株
計	6,091,000	6,091,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年 月 日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日	-	6,091	-	1,513,687	-	1,317,207

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 108,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,955,000	5,955	-
単元未満株式	普通株式 28,000	-	-
発行済株式総数	6,091,000	-	-
総株主の議決権	-	5,955	-

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社サンユウ	大阪府枚方市春日北町三丁目1番1号	46,000	-	46,000	0.76
大同磨鋼材工業株式会社	広島県広島市西区小内町1丁目25番13号	62,000	-	62,000	1.02
計	-	108,000	-	108,000	1.77

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,305,293	1,748,593
受取手形及び売掛金	4,205,118	4,388,846
商品及び製品	1,395,700	2,068,248
原材料及び貯蔵品	1,253,678	1,511,244
繰延税金資産	78,836	60,470
その他	300,342	251,287
貸倒引当金	27,865	31,626
流動資産合計	8,511,105	9,997,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,880,177	1,810,571
機械装置及び運搬具(純額)	2,093,707	2,162,923
土地	1,202,803	1,448,032 <sub>1</sub>
リース資産(純額)	23,896	22,042
建設仮勘定	70,300	280,543
その他(純額)	100,638	90,940
有形固定資産合計	5,371,523	5,815,054
無形固定資産		
のれん	-	70,302
その他	48,916	39,928
無形固定資産合計	48,916	110,230
投資その他の資産		
投資有価証券	385,115	320,836
長期貸付金	74,526	66,009
繰延税金資産	-	18,521
その他	36,136	43,735
貸倒引当金	14,131	14,131
投資その他の資産合計	481,646	434,970
固定資産合計	5,902,086	6,360,256
資産合計	14,413,191	16,357,321

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,060,311	4,608,046
1年内返済予定の長期借入金	593,200	1,492,882
リース債務	2,472	2,472
未払法人税等	138,160	68,925
賞与引当金	96,770	55,350
設備関係支払手形	206,181	3,887
その他	329,823	502,568
流動負債合計	5,426,918	6,734,131
固定負債		
社債	-	100,000
長期借入金	1,693,700	2,332,208
リース債務	21,424	19,570
繰延税金負債	3,372	33,953
退職給付引当金	342,668	354,967
長期未払金	28,072	16,840
資産除去債務	25,000	33,674
固定負債合計	2,114,236	2,891,212
負債合計	7,541,155	9,625,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,513,687	1,513,687
資本剰余金	1,317,207	1,317,207
利益剰余金	4,031,371	3,944,264
自己株式	21,299	43,788
株主資本合計	6,840,967	6,731,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,069	605
その他の包括利益累計額合計	31,069	605
純資産合計	6,872,036	6,731,976
負債純資産合計	14,413,191	16,357,321

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	9,329,812	11,020,963
売上原価	8,097,728	9,672,564
売上総利益	1,232,084	1,348,399
販売費及び一般管理費		
運搬費	262,344	286,091
給料及び手当	211,551	286,631
賞与引当金繰入額	18,780	24,245
退職給付費用	21,032	27,820
貸倒引当金繰入額	4,281	-
減価償却費	69,217	60,784
のれん償却額	-	12,406
その他	405,950	501,971
販売費及び一般管理費合計	993,159	1,199,951
営業利益	238,925	148,447
営業外収益		
受取利息	2,071	1,446
受取配当金	5,245	7,847
受取賃貸料	7,364	5,113
鉄屑売却収入	3,192	6,773
その他	6,312	9,151
営業外収益合計	24,187	30,331
営業外費用		
支払利息	11,663	39,263
売上割引	2,466	3,742
その他	253	774
営業外費用合計	14,383	43,780
経常利益	248,729	134,998

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	3,553	717
補助金収入	-	<sup>2</sup> 77,965
債務免除益	<sup>1</sup> 20,000	-
特別利益合計	23,553	78,682
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	11,279	2,448
固定資産売却損	12	-
投資有価証券評価損	-	12,936
固定資産圧縮損	-	<sup>3</sup> 77,965
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	33,580	-
特別損失合計	44,872	93,349
税金等調整前四半期純利益	227,410	120,331
法人税、住民税及び事業税	30,481	140,011
法人税等調整額	73,089	25,548
法人税等合計	103,571	165,559
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	123,839	45,227
少数株主利益	-	-
四半期純利益又は四半期純損失( )	123,839	45,227

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	123,839	45,227
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	54,313	30,464
その他の包括利益合計	54,313	30,464
四半期包括利益	69,525	75,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,525	75,691
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間  
(自平成23年4月1日  
至平成23年12月31日)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、大同磨鋼材工業株式会社の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
	1 地方公共団体からの補助金受入れによる有形固定資産の圧縮記帳額は77,965千円で取得価額より直接減額しております。

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1 債務免除益 債務免除益の内容は、当社における役員退職慰労金支給対象である取締役の受給権放棄に伴う前連結会計年度末に固定負債(長期未払金)に計上している金額20,000千円の取崩額であります。	2 補助金収入 補助金収入の内容は、(株)サンユウ九州における土地取得に伴う地方公共団体からの用地取得助成金であります。  3 固定資産圧縮損 固定資産圧縮損の内容は、上記 2 の補助金収入を土地取得価額から直接控除したものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
減価償却費 305,094千円 のれんの償却額 -	減価償却費 505,751千円 のれんの償却額 12,406

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	42,313	利益剰余金	7	平成22年 3月31日	平成22年 6月30日

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	42,313	利益剰余金	7	平成23年 3月31日	平成23年 6月30日

(注) 配当金の総額には連結子会社が保有している親会社株式に対する配当金434千円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

当社グループは、みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半 期純損失金額( )	20円49銭	7円56銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	123,839	45,227
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失 ( )(千円)	123,839	45,227
普通株式の期中平均株式数(株)	6,044,726	5,982,726

(注) 当第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株あたり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、前第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株あたり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月8日

株式会社サンユウ

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 堤 佳史 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小林 洋之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンユウの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンユウ及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータは含まれていません。